

2023-24 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1564 回 (31)

会 長 瀬 尾 義 裕 幹 事 黒 木 成 光

クラブ会長テーマ



「次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～」

日 時	2024 年 3 月 26 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 楽しい火曜日 」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



世界に希望を生み出そう

【 会 長 報 告 】

先日のインターシティミーティングは大変お疲れ様でした。東クラブと松永クラブの共同設営による大会でしたが、前半の大会の部では教育コンサルタントの林純次さんによる現場経験に裏打ちされた示唆に富んだご講演、各クラブからの具体的な奉仕活動のご紹介を頂き、引き続き懇親会の部では福山市立一ツ橋中学校と府中市立府中学園の生徒の皆様からアンサンブル公演を頂きました。大変盛況な大会となりました。とりわけ、各クラブが展開している奉仕活動のご案内には、私自身大きな刺激を受けました。他クラブの活動に学び、考え、是否とも、今後の当クラブの奉仕活動に活かして参りましょう。

さて、本日は、「鉄の肺」の中で70年間を生き、ポール・アレクサンダーさんを偲んでご紹介いたします。

ポール・アレクサンダーさんは、米国テキサス州出身で、人生の大半を「鉄の肺」の中で生き、本年3月11日に78歳で亡くなりました。

アレクサンダーさんは、米国でポリオが大流行した1950年代後半、6歳の時に罹患し、首から下が麻痺して自力呼吸ができなくなりました。医師はアレクサンダーさんが呼吸していないことに気づき、すぐさま鉄の肺の中に入れました。鉄の肺は、頭部以外の全身を覆い、空気圧を調整して強制的に肺が空気を吸い込み、吐くようにする金属製の気密タンク300キロです。アレクサンダーさんは10年間、鉄の肺からも家からも外に出ることが出来ませんでした。しかし、努力を重ね、自力で肺に空気を送り込むことができるようになり、8時間を限度に車いすで動き回れるようになりました。「家の外に出た最初の日が最高でした。生活が大きく改善しました」とアレクサンダーさんは振り返ります。そして、テキサス大学に行くことを決意し、キャンパスに引っ越して、看護助手の助けを借りて授業を受けながら学位を取得。その後、法律の学位も取得して司法試験に合格し、民法・刑法の弁護士となりました。頭の側にはパソコンのキーボードとタッチトーンの電話があり、口にくわえたプラスチックの棒で操作してお仕事をされたようです。

さて、ロータリーとの繋がりですが、アレクサンダーさんの父親は1960年代にダラス・ロータリークラブの会長でしたが、アレクサンダーさんはそのことを覚えていないとのこと。2015年、アレクサンダーさんはロータリアンと出会い、ポリオ根絶活動を知ります。「“ポリオを根絶する”という考えに圧倒されました。これまで長年、ロータリーのこの活動について知らなかったんです」と、アレクサンダーさんは話します。「まさに自分にふさわしい団体だと思いました」。他方で、自分が貢献できるかどうか分からないと不安でしたが、オンラインで例会を開くEクラブなら問題なく参加できると考え、ロータリーEクラブの会員として活動し、自身の経験についての本を執筆したり、ポリオ根絶の大切さを伝えるために活動されました。

生前のアレクサンダーさんはこう言いました。「ロータリーの一員であることは私にとって非常に重要です。とても楽しく、いろいろなアイデアについて夜も寝ないで考えてしまうくらいです。人生で多くの人たちに出会いました。思いやりのある人がこんなにたくさんいるとは思っていませんでした」

78歳で亡くなられたアレクサンダーさんのご冥福をお祈りしながら、ポリオ根絶の重要性に改めて思いを致して頂ければと思います。

なお、ロータリーの根絶活動については、今月号横目次の51頁に「ポリオ根絶に向けた2段階計画」が投稿されています。生ワクチンと不活化ワクチンの違いが簡潔に説明されていますので、是非ご参照下さい。

本日も宜しく申し上げます。

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

《 PETS 報 告 》



国際ロータリー第2710地区

2024-25年度

会長エレクト&地区チーム研修セミナー

2024年3月10日 於：ホテルグランヴィア広島

会長エレクト研修セミナー (Presidents Elect Training Seminar) PETS 参加報告

2024-25福山西ロータリークラブ会長エレクト：鹿内要秀

2024-25年度R | 会長テーマ

「The Magic of Rotary」ロータリーのマジック

2024-25年度R | 会長：ステファニー・A・アーチック

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。」とアーチックRI会長エレクトは2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」について呼びかけました。アーチック会長は、ドミニカ共和国での浄水器設置活動をしていた時に、汚水が浄水器に入り透明な水が出てくるところを見ていた少年に「もう一度魔法を見せて」と言われました。少年は安全な水が簡単に入手できれば自分たちの人生が変わる事を知っていました。私が少しでもその力になれたことを知ったことで私の人生も変わったと述べられました。アーチック会長はポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。ポリオ根絶活動を支援する最善の方法は認識向上と資金調達です。ポリオ根絶への支援を呼び掛けてください。ポリオは今も私たちの最優先事項です。ロータリーの行動計画からマジックが始まります。分断された世界を癒すにはそのマジックが必要です。私たちがベストを尽くすためには、私たちの組織に変更を加える必要があるかもしれません。行動計画は地区内のクラブでの体験をより良くするものです。地区内のクラブが活発に活動していない、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時期に来ているのかもしれませんが。クラブをより良くするために何ができるか尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。地元のクラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。また、心からクラブへの帰属意識を持ってない会員がいるかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎え入れること

を願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、また、アーチック会長は、平和構築が私の最優先課題の一つだとして行動喚起を呼びかけました。そのプログラムの一つの、ロータリー平和フェロシップではロータリー平和センターを卒業した 1800 人以上の平和フェローがより良い世界を築くため活動しています。そして 2025 年にイスタンブールに新たな平和センターが設置されます。これを記念して「分断された世界を癒す」をテーマにロータリー平和会議が行われます。それまでの間、会員の皆さんも平和の推進のために多くのことができます。その手段の一つとして「四つのテスト」があります。四つのテストを実践していけば世界はより良くなるでしょう。

「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

2024 年国際協議会テーマ講演より、上田ガバナーエレクト抜粋

地区運営方針

ガバナーエレクト：上田文雄

第 1 2024-25 年度 RI 会長テーマについて

1) 平和構築、世界の分断を癒すための取組

アーチック会長は、ロータリーの行動計画を推進し、平和のために活動するよう会員に促しました。2025 年にはイスタンブールで新たなロータリー平和センターが開設され、それを記念して「分断された世界を癒す」をテーマに会議が行われます。また、平和構築の手段の一つとして「4 つのテスト」を実践し、世界をより良くしていくことに取り組むことを呼びかけました。

2) 変化への取組

クラブでの体験をより魅力的なものとするために、行動計画を推進する。地区やクラブの課題を確認し、クラブがより良くなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるようにする。そのための手段の一つとして多様性、公平さ、インクルージョン(DEI) を推進する。

3) ロータリーのマジックの実践

ポリオ根絶への取組、プロジェクトの実施、寄付、会員拡大など、ロータリーの活動を行う中で「ロータリーのマジック」を使って、世界を変えて行きましょう。

第 2. ガバナー信条「行動しよう、未来のために」

変革に取り組もう クラブの文化を見直そう(DEI の推進)

当地区には、会員数の減少により将来的に存続が危ぶまれるクラブが存在します。今後地域の人口減少で、多くのクラブが同様な危機を迎える可能性があります。また都市部においても、会員増強が進んでいないクラブが多数あります。一方、ロータリアンにふさわしいにもかかわらず、入会していない人たちも多数います。若い人、女性、経営者以外の人などが入りやすく、また、現在のメンバーにとっても、だれもが(D)笑顔 で(E)居心地の良い(I)クラブにするために、多様性(D)・公平さ(E)・インクルー

ジョン(1)(DEI)を進め、会員増強、衛星クラブの設立、ローターアクトクラブの強化などに取り組みましょう。

1) 奉仕活動に取り組みよう

コロナ禍で停滞した奉仕活動を、コロナ前より発展させる契機として、奉仕活動に対する意識を高めるきっかけを作りましょう。戦争、災害、地球温暖化、人道問題など様々なニュースの中で、奉仕に対する意識は高まっています。是非奉仕のきっかけを見つけて行動し、ロータリーのマジックを実践しましょう。

国際ロータリーの7つ目の重点分野として2021年に環境分野が追加されました。昨年7月は過去10万年で最も暑い7月になったとして国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰化の時代が来た」と警告したように、環境変化の影響は次第に身近に感じられるようになってきています。環境問題は、7つの重点分野の中では最も取り組みやすいテーマです。学校でも国連のSDGsについて教育が行われています。是非とも家庭で環境問題に何ができるか話し合い、会社では職業奉仕として、省エネ、リサイクルや自社の事業として環境分野に取り組みたいか等検討してほしいと思います。そして、社会奉仕として、地球や地域の環境分野に貢献するため、他の団体とも協力して取り組み、地区補助金やグローバル補助金につなげてください。ロータリー財団の標語は「世界で良いことをしよう」です。是非一緒に世界で良いことをしましょう。

第3 地区、各クラブにおいて達成すべき目標

1) クラブ及び地区の3か年計画の作成

2) 奉仕活動計画の作成

3) 会員増強、クラブ文化の見直し

- ①会員増強目標人数の設定(最低1名以上、コロナ禍前の人数を目安に)
- ②クラブ会員の多様性推進 DEIに関する理解促進のための取組の実施
- ③女性会員数目標の設定

4) ロータリー財団支援

- ①年次基金 150ドル/人以上
- ②恒久基金 ベネファクター1名以上/クラブ または 1,000ドル以上/クラブ
- ③ポリオプラス基金 30ドル/人以上
- ④ロータリーカードの理解と普及
- ⑤会員への財団ニュースのメール配信促進
- ⑥ポリオプラス・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティの周知

5) 米山記念奨学会への支援 16,000円/人以上

6) その他

- ①マイロータリー全員登録の取組実施
- ②ラーニングセンターの利用促進

PETS、地区研修協議会参加者の受講推進、クラブ会長・幹事の受講促進

③ガバナー月信のメールでの配信移行に伴う、会員のメールでの受信促進

基調講演 魅力あるクラブ作りを目指して

講師：あすかRC 中川基成

中核的価値観

「持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界」

これを実現する為の4つの優先事項

Service（サービス）＝奉仕（有償・無償の奉仕）、Integrity（インテグリティ）＝高潔性・公平、Fellowship（フェロウシップ）＝親睦、Diversity（ダイバーシティ）＝多様性、Leadership（リーダーシップ）＝指導力

魅力的なクラブの文化(風土)とは

1. 様々なやり方や手法＝多様性
2. 公平性
3. 居心地が良い（若者・高齢者・女性）
4. ロータリーに定年はない

より大きなインパクトをもたらす

1. 地域社会の問題やニーズを調査
2. 現在の活動を見直し、簡素化、廃止を検討
3. 測定可能で末永く続く良い変化を生み出す奉仕活動

アクションプラン（参加しよう）

1. 奉仕をするには、まず世界をよりよく変えるという気持ちを持ちなさい（奉仕をするのが目的ではない、）
2. 世界を変えるにはまず家族を愛しなさい（マザーテレサ）
3. ロータリーを通じた人としての成長

新入会員へのお願い

是非とも My Rotaly に登録してラーニングセンターを受講してください

「ロータリーを学ぼう」

《 新会員卓話 》



【 目黒 由成 さん】

2023年8月22日 入会
株式会社 QL サービス 代表取締役
職業分類：道路貨物運送業



【株式会社 QL サービスのビジョンを表した絵】





企業スローガン

御縁を繋ぐ物流企業

経営理念

私達は安心・安全・丁寧な物流を提供し続けます

私達はお客様に感謝され続ける会社を目指します

私達は社員の物心両面の豊かさを大切にします

株式会社QLサービス 目黒 由成

基本方針

1. お客様に寄り添ったサービスを提供し、頼りにされる存在となります
2. 車両事故・荷物事故0件の会社を目指します
3. 社員が成長しながら、生き生きと働ける職場環境を実現します
4. 全社員の生活向上を目指し、魅力ある会社作りを行います
5. 地域に必要となる会社になります